



東京都隊友会八王子支部便り『第81号』

【令和5年10月15日:東京都隊友会八王子支部発行】

令和5年度ビスマーク・ソロモン諸島遺骨収集派遣（第1次）に参加して 理事役 戸田幸子

7月28日から8月11日まで、隊友会からソロモン諸島・ガダルカナル島に派遣されました。

現地では、在ソロモン日本大使館、ソロモン諸島国立博物館を表敬訪問した後に、厚生労働省遺骨鑑定専門員の先生による未鑑定遺骨の鑑定と検体採取が開始されました。

私は、御遺骨袋から取り出した御遺骨、遺留品の振り分けを行いながら、先生の書類作成の補助と、検体番号、遺骨採取地、柱数、検体部位、検体数等の記録を行い、鑑定後の御遺骨を新しい御遺骨袋に納める作業等を担当しました。

8月3日に、海上自衛隊護衛艦「しらぬい」の入港歓迎式典に参加し、翌日の遺骨引渡式（140柱・309検体）において御遺骨の捧持をさせていただきました。第1護衛隊群司令 西山海将補の「御遺骨は我々が責任を持って日本までお連れします。御英霊の皆様は日本にお帰りいただきます」という言葉に、遺族会の皆さんをはじめとした団員一同涙しました。

8月7日には、コカンボナ地区で行われた追悼式で、隊友会からの追悼文を拝読しました。ご遺骨採取地確認で、ジャングル内の険しい道を辿り野戦病院跡、激戦地跡を訪れ、戦争の悲惨さを改めて痛感すると共に、御英霊と御遺族様の無念さ、悲しみは哀惜の念に堪えません。

このように貴重な機会をいただき、ご指導いただきました公益社団法人隊友会 本部事務局の皆様、激励いただきました東京都隊友会の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後も、遠い地に眠る御英霊が、一日も早く、一柱でも多く、祖国日本にお帰りいただけることをお祈りいたします。

